

# 総務 常任委員会

委員長 大山和則 副委員長 飯島洋省  
委員 林悦子・相田一良・仁平 実・鈴木裕一

## 市税の収納

税収が厳しい中で歳入確保のため、職員による適正な滞納整理や差し押さえ等により市税の収納について成果を上げています。今後も茨城租税債権管理機構とも連携を図るとともに、収納向上を目指し財源確保に向けた取り組みを行うよう要望しました。

## 消防団員の確保

全国的に消防団員が減少傾向にあり、新たな団員の確保が困難な状況です。このため消防分団の再編を重要課題と位置づけ、再編に向けて取り組んでいただくよう要望しました。

## 国体について

今年10月、茨城県で開催される国民体育大会は、県内外から訪れる選手・役員が競技に集中できる環境づくりと、来訪者への心からのおもてなしに万全を期するとともに、大会開催協賛企業・団体を募るなど、

経費の圧縮に努めるよう要望しました。

## 公共交通

本年2月にJR岩瀬駅のみどりの窓口が閉鎖され、3月のダイヤ改正では岩瀬駅発着便の減便が予定されています。今後もこの流れが進めば、市民生活や地域の発展に影響が出ることが予想されるため、水戸線増便への強い働きかけを早期に行っていくとともに、市としても利用促進に取り組むよう要望しました。

## 大和駅北地区開発事業

本事業について、インフラ整備を早期に行いながら民間開発も同時に誘導し、まちづくりの早期実現に向け取り組んでいくとともに、インフラ整備による投資効果を検証し、補助事業等を活用しながら適正な事業実施を要望しました。  
※委員会終了後、関係施設への視察を行いました。



# 建設経済 常任委員会

委員長 潮田新正 副委員長 榎戸和也  
委員 高田重雄・風野和視・萩原剛志・武井久司

## 畜産振興に関する防疫対策

悪臭の原因となる家畜排せつ処理の指導をはじめ、市民生活の不安解消のため、現在、他県で発生している豚コレラ等の家畜伝染病対策についても、県及び関係団体と連携し、迅速かつ徹底した防疫措置を講じるよう要望しました。

## 地域産業の振興

いばらきストーンフェスティバル及び桜川市やまと(まほろば)の石まつりについては、市の基幹産業の一つでもあるので、地域の石材事業者の活性化が図れるよう継続した支援及び関係機関や部課内で連携し、市内特産品の情報発信の強化を要望しました。

## 市営住宅管理

市営住宅について、耐震性や耐用年数を経過し、用途廃止をしている住宅については、入居者の住み替えを推進するとともに、入居者の移転後は住宅の取り壊

し等を計画的に進め、住宅用敷地の返還を早急に実施し、借地料を減らしていくよう要望しました。

## 上下水道事業

農業集落排水事業については、老朽化による修繕を計画的に行い、維持管理費の削減に努める。また公共下水道事業についても、接続件数の向上に努め、建設に当たっては、費用対効果を念頭に効率的な整備を行うよう要望しました。

水道事業は重要なライフラインである水道水の安定供給を継続するために、老朽化した設備の保守点検及び更新を進めるとともに、経費の削減に努めながら施設の適正な管理運営を要望しました。

※委員会終了後、関係施設への視察を行いました。



やすらぎの里

# 委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ所管の事案について審議しています。このページでは、その審議内容や各委員会の活動状況を報告します。

# 文

## 教厚生 常任委員会

今号は文教厚生 常任委員会に注目



やたべよしのり ◎谷田部由則



かるべ とおる ○軽部 徹



こばやしまさひろ 小林正紀



こだかともりのり 小高友徳



いちむら かおる 市村 香



きくち のぶひろ 菊池伸浩

## いじめ調査委員会の体制や内容

いじめの問題は外見で判断できる肉体的なものから、判断が大変難しい心理的なものまであるので、それぞれの専門知識を持つ方々との連携により早期解決を目指し、今後もいじめが起らないよう、引き続き関係者との連携を密に対応するよう要望しました。

## 教育関係施設の維持管理

今後、老朽化が進むと修繕費用も大きくなると考えられます。適切な点検を実施し、早めの不具合解消を心がけて、多額の修繕費とならないよう努めるとともに、各施設の要望や実情をよく精査した上で予算を配分するよう要望しました。

## 学童クラブの運営

学童保育に適した余裕教室の確保が難しく、また指導員の確保にも苦慮しているところです。学童クラブの施設を確保するために、担当部局だけでなく、教育委員会や関係機関と調整しながら、学童クラブとして使用可能な余裕教室の確保を検討し、希望する児童が支援を受けられるよう要望しました。

## 小学校・認定こども園

岩瀬小学校でICT技術を活用した英会話交流事業、及び4月から認定こども園2施設の運営を行う桜川市社会福祉協議会を視察し、事業の実施状況や今後の取り組みについて確認をしました。  
※委員会終了後、関係施設への視察を行いました。



岩瀬小学校(写真上)、社会福祉協議会(写真下)